

2024年度 新人看護師研修 プログラム

研修時間：基本的にはAMは8：30から開始 PMは13：00から開始

2024.3.2

研修日	研修時間	研修場	研修名	目的	内容・方法など	講師等(サポーター)	
4月3日(水)	AM	2.5	看護オリエンテーション	施設看護の方針・組織論、教育体制について理解する	講義—組織、教育体制などについて学ぶことにより社会人として看護師として働く自覚を持てるようになる	部長・副部長 角田	
				社会人として働くイメージをつけ、看護師としての自覚をもつ	講義—自覚と自覚の心、責任感の心について学ぶ。施設・患者が「自分から学ぶ姿勢」なども知れる。看護職は生涯学び続ける必要があることを理解する	角田	
	PM	0.5	研習室	アイスブレイク コミュニケーション研修	研修の意図を感じ体感することで、相手に合ったコミュニケーションの方法を知る	講義、GW—一人との違いを習得する必要がある。また、家人以外とのコミュニケーションを取りたいという目的、言葉遣いなどにも意識する	角田
				研修：ボジショニングについて	患者・看護師とより安全、安全な方法を学ぶ	講義—実践—手洗い・感染予防の方法 ボジショニング実践	リハビリ 下條 榎本
				情報管理について	医療・福祉においての情報管理の考え方について理解する	講義—医療における情報管理と組織の情報管理 ①②利用の注意事項などについて	角田
0.5	研修室	院内での見学	看護のある部署（手術室、検査室、透析室、訪問等）の様子がわかる	角田			
1	研修室	新人研修オリエンテーション	1年間の研修の進め方について理解する	研修の年間スケジュール、ツールの活用方法など	角田		
4月4日(木)	AM	2	研修室	研修での感染対策の基礎を学ぶ	講義—実践—手洗い、個人防護具の着脱	西尾	
	PM	1.5	研修室	医療安全 インシデントレポートについて	講義—当院の事例を用いた講義、インシデントレポートの記入方法について	金永	
4月5日(金)	AM	3.5	研習室	コミュニケーションについて	コミュニケーションの考え方を学ぶ	講義—実践—ケアの重要性 ケアの取扱いの実際	WONの職員 矢花
				コミュニケーションについて	コミュニケーションの基礎と準備について学ぶ	講義—実践—手洗い、個人防護具の着脱	WONの職員 下條
	PM	1	研習室	1年間の目標の立案	個人・仲間とともに1年間の目標を考える	1年間の目標を明確にすることで助けない学習成果を作る (1年後の自分への手紙)	仲村 新人研修 担当
				注射の準備—一部の手洗	注射実施時の確認—注射の扱いを体験する	実践—注射機を用いORを確認して準備、操作を行う	金久保 仲村
				注射の準備—一部の手洗 注射の実施—皮下注射の実施 シミュレーション	実践—注射機を用いORを確認して準備、操作を行う	砂山	
4月6日(土)	AM	3.5	研修室	電子カルタの操作	電子カルタの操作の基礎を学ぶ	講義—実践—電子カルタの使用法の説明を受けながら実際に操作を行う (3名位のグループ)	下條 金久保 砂山
4月8日(月)	AM	1	研修室	輸液ポンプ・シリンジポンプの操作	使用している機器の正しい使用方法を学ぶ	講義—機器の正しい扱い方について	ME 久保
				輸液ポンプ・シリンジポンプの操作	使用している機器の正しい使用方法を学ぶ	個人—機器を用いORの入れ替え体験する。課題の作成—実践	講義 下條
	PM	1.5	研習室	注射の準備—一部の手洗 注射の実施—皮下注射の実施	注射実施時の確認(復習)—一部内、皮下注射を体験する	講義—実践—シュミレーターを使用し看護手順に沿ってチェックしながら行う	講師 渡野 矢花
				採血法について	採血の安全、正確な手順と注意事項について理解する	講義—安全、正確な検査を行うための知識	講師 佐々木
				採血—静脈注射の実施	手順を理解し教習を受けながら正確に手順を行う	実践—一人同士で採血を行う シミュレーターを使用し高度（前置群）の採刺：固定を行う 2グループに分かれて採血、点検を同時進行で行う	佐藤・矢花 講師 下條
4月9日(火)	AM	1.5	研修室	看護記録について	看護記録の基礎を学ぶ	講義—日々行う看護記録について 記録すべきこと、してはならない表現など	金久保
PM	0.5	研習室	看護連携の意義、目的などについて理解する	看護連携の意義、目的などについて理解する	講義	山田	
			血液検査について	使用している機器の正しい使用方法を学ぶ	講義—実践—安全、正確な検査を行うための知識を学び実際に体験する	セルムに依頼 角田	
			看護協会の申込み		看護協会の申込み	看護課 立川	

※ 内容等変更になる場合があります。

2024年度 新人看護師研修 プログラム

研修時間：基本的にはAMは8：30開始 PMは13：00開始 職場の当日の管理者に報告して帰宅を希望する

2024.3.2

研修日	研修時間	研修場	研修名	目的	内容	講師等(サポーター)	
5月	AM	4	研修室	モニター監視設備中の確認	モニターを装着している意味を考えた観察ができる	講義—GW—異常発報がわかる。観察につなげる	講師
	PM	2.5	研習室	12標準心電図について	12標準心電図の意味と実施方法について学ぶ	講義—実践—12標準心電図をとる	検査科 生理検査 佐藤 直弥
				心電図について	心電図の基礎とポイントを学ぶ	講義—実践—新人同士で行う	検査科 生理 眞島
6月	AM	1	研修室	フィジカルアセスメント（呼吸器の聴診）	聴音、聴診者のアセスメントの基礎を学ぶ	講義—実践—シュミレーターを用いて観察の方法を学びアセスメントをする	田原 講師 高木 下條
	PM	2	研習室	フィジカルアセスメント	事例を通してフィジカルアセスメントを学ぶ	講義—30分間について学ぶ	田原 花澤 佐藤
				認知症について	認知症について学びせんを学ぶ	講義—30分間について学ぶ	田原
7月	AM	3.5	研習室	急変時の看護について	急変時の患者・家族への対応について学ぶ（時習介助を含む）	講義—急変時の院内対応：患者と家族への対応 実践—BLS実践：排痰介助 ※BLS実践テストは各部署で シミュレーター：借出	花澤・仲村 下條 佐藤
	PM	1.5	研習室	輸血について	輸血療法の基本を学ぶ	講義—安全に行うための知識を学ぶ	検査科 佐々木
				輸血のブライメン	ブライメンができる	実践—実際に体験する	花澤 下條
8月	AM	1.5	研修室	目標の中間評価（個人・グループ）	中間評価をし振り返りを行う	個人・GW—グループ発表	仲村 新人研修 担当
	PM	2	研習室	人工呼吸器の取扱いについて	使用している機器の正しい使用方法を学ぶ	講義—実践— 作動させるまでの準備、手順、アラームの、観察すべき点を学ぶ	ME 久保 下條 砂山
				KVTについて	KVTの視点を学ぶ	講義—GW—事例を通してグループで一連の過程を学ぶ	砂山
9月	AM	1	研修室	講下評価について	安全に患者介助するための基本を学ぶ	講義—実践—後事介助時の観察ポイントがわかる	GT 山田
10月	AM	1.5	研習室	看護サマリの書き方について	受け持ち患者の看護サマリが書ける	講義—他者（医療、福祉関係者など）に伝わるサマリについて	講師
	PM	1	研習室	メンバーシップについて	メンバーシップについて理解しチームの中で役割が果たせる	講義—GW—チームの中で自己の役割、できることを考える	金久保
				商業の取扱いについて	商業の取扱いの基本を学ぶ	講義—取扱い物の基礎知識を学ぶ	薬剤師 松本
PM	3	研習室	消化療法について	基礎知識を学ぶ	講義—安全に行うための知識を学ぶ	山田	
			緩和ケアについて（緩和ケア 聴き取り）	緩和ケアの考え方、聴き取りの意義、家族への対応について	講義—がん緩和ケア 実践—エンゼルケアの方法	中山・山田	
12月	AM	1.5	研習室	入退院支援について	入退院支援、調整の役割を学ぶ	講義—GW—事例を通して考える	角田
	PM	4	研習室	看護連携について	臨床のシナジーに気づき考え方を学ぶ	講義—GW—	関川
1-2月	AM	1.5	研習室	在宅療養を支える職種との連携について	訪問看護、CM・MSWの役割について理解する	講義—現場で暮らすための必要な専門職の役割や制度について学ぶ (訪問看護を含む)	訪問看護、CM MSW
				1-2月	AM	1.5	研習室
3月	PM	1	研習室	目標の評価（個人・グループ発表）	1年間の振り返りを行い発表を考える	個人・GW— グループ発表	新人研修担当
				0.5	研修室	修了式	経理看護部長からの一言（1年後の自分への手紙）

※ 日時は改めて連絡します。 内容等変更になる場合があります。